

デモクラシー人々のつながる力



大正デモクラシーの生誕地 宮城県大崎市古川

吉野作造記念館

Yoshino Sakuzo Memorial Museum

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3
TEL 0229-23-7100 FAX 0229-23-4979
ホームページ <http://yoshinosakuzou.jp/>

■ロゴマークの意味

「人」という文字を囲むように、丸い点を三ヶ所に配置し、線と点で「和・輪」を表現。吉野博士の特徴となっている髭をたくわえた顔も隠したデザイン。

～吉野博士にちなんだお店 ご紹介～



●和善割烹
「きたはま」……※地図①
・でもくら料理



●ケーキハウス
「ガトースワン」…※地図②
・大正ロマンクッキー



●作造ハンバーグのお店
「竹乃や」……※地図③
・作造ハンバーグ

【アクセス】



■吉野作造記念館 利用案内

入館料	個人	20名様以上の団体
大人	310円	250円
高校生	210円	160円
小・中学生	100円	80円

※企画展開催等、別途入館料となる場合があります。

【開館時間】 9時00分～17時00分
【休館日】 月曜日(祝祭日の場合は翌日が休館日)
【年末年始】 12/29～1/3まで
【駐車場】 80台完備(無料)

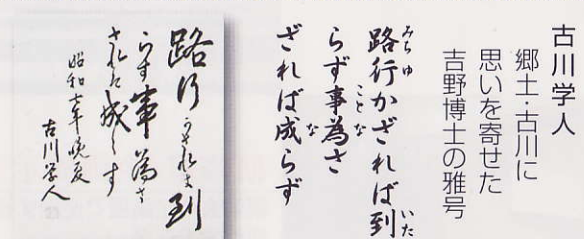
大正デモクラシーの旗手 吉野作造



博士は、1878(明治11)年1月29日大崎市古川十日町で生まれた。東大教授だった博士は、日本の政治の在り方が欧米に比べてあまりにも後れていることを憂い、政治は国民をもととするよう主張し、天皇制は認めた上で、国民から離れた元老や枢密院は廃止、貴族院や軍部などの特権を抑え、国民の選ぶ議会が中心となって、政党内閣の首相のもとで国民の意向をくみ、国民の幸せを目指す政治を実現すべく、抑圧にめげず力説した。このような博士の民本主義の主張は結局、敗戦という大きな犠牲の上で初めて日本国憲法で実現するのである。思えば博士は、戦後のこの憲法を40年も前に先取りし、国を憂い国を愛した偉大な先覚者であった。

博士は反対しつづけた満州事変のさなか、1933年(昭和8)3月18日55歳で亡くなられたのである。

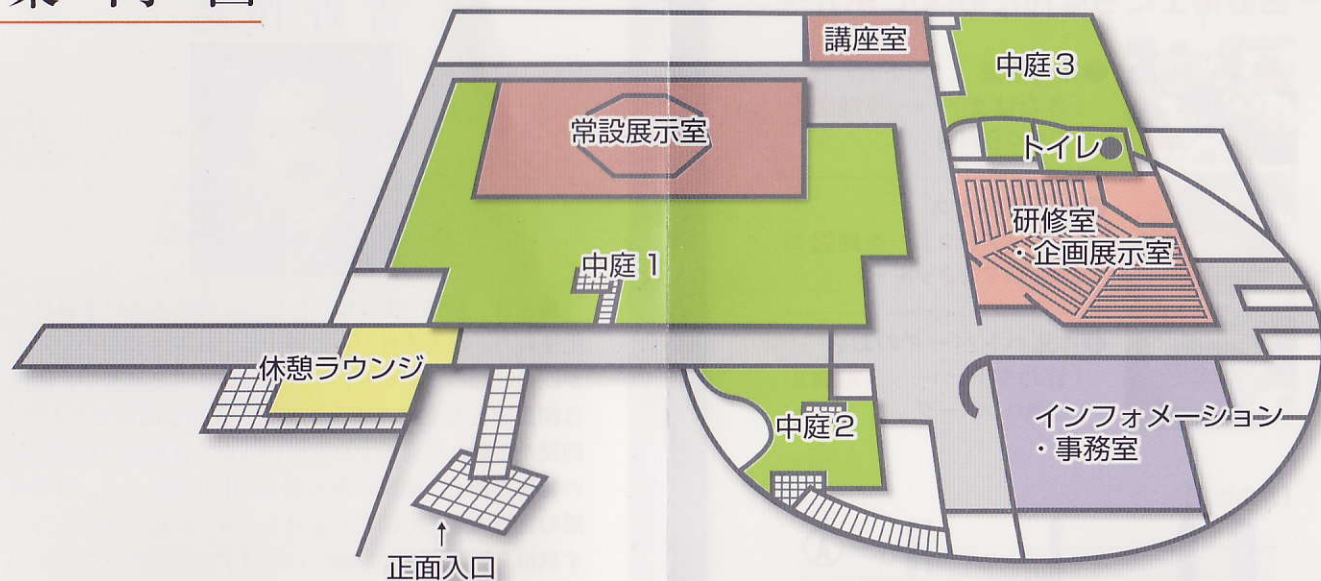
(分責 祇園寺 信彦)



吉野作造顕彰碑

- 題字 長谷川如是閑
- 吉野作造のレリーフ 齋藤素庵(吉野作造の娘婿)
- 碑文 河村 又介 (吉野作造の門弟)
- デザイン 牧 恒夫





その他の会場紹介

講座室

講座・会議で使用する場です。
30名程度



研修室・企画展示室

講演会や企画展で使用する場。
研修室 90名
企画展示室 130名



休憩ラウンジ

休憩場所として使用する場。

映像鑑賞

「我が同時代人吉野作造」 (約20分間の上映)



展示解説(要予約)

ご要望に合わせてオーダーメイド出来ます。

お土産&記念品にどうぞ!!

- クリアファイル……250円
- 一筆箋………300円
- レターセット………450円



大正と現代、
そして未来への架け橋。

世界を知り、日本の未来を憂い、
たたかい続けた吉野作造。
彼の足跡をたどれば、これからの日本の姿が
見えてくるかもしれません。

常設展示室の見学

吉野作造博士の功績や人間像などをわかりやすく、
5つのコーナーにて紹介。

プロローグ

吉野の生涯を、世界・日本の動きと
対照させながら概観。

アカデミズムの人・吉野作造

政治学者・歴史家として吉野を紹介。

ジャーナリズムの人・吉野作造

吉野の政治・社会運動との関わりを
言論人・啓蒙家の側面から紹介。

インターナショナルリストとしての吉野作造

国際主義者としての吉野をキリスト教信仰や
中国・朝鮮理解などに重点をおいて紹介。

宮城と吉野作造

思想形成のもととなった
郷土との関わりや家族構成などを紹介。

